

一般会計補正予算 57億 2400万円など 29議案を可決

1億7580万円 平成26年10月から、予防接種を実施します。

水痘ワクチン接種事業

・通学路安全推進事業
通学路の安全を確保するための防犯カメラを設置します。
(20台予定 600万円)

中庄小学校区他
・防犯カメラ設置助成事業
一定の要件を満たす住民団体が、地域内の道路・公園などに防犯カメラを設置する費用の一部を助成します。
(30台予定 900万円)

補正予算の主な事業

防犯カメラ設置推進事業
1795万円

成人用肺炎球菌ワクチン接種事業
7533万円

平成26年10月から、予防接種を実施します。

〔対象者〕
①65、70、75、80、85、90、95、100歳の方
(平成31年度以降は65歳の方のみとなる予定)
②10歳以上の方(平成26年度のみ)
③接種日時点で、60歳以上65歳未満で一定の障がいがある方

〔自己負担額〕3000円(市民税課税世帯)
1500円(市民税非課税世帯)
無料(生活保護世帯)

竜の子新聞

第8号

市政報告
あらき竜二
倉敷市川入 641-5
TEL & FAX : 086-434-8185
http://www.ryu2.biz
e-mail: info@ryu2.biz

facebook

ジーンズとスーパーカールズ議会(平成26年9月3日〜22日)
今回の補正予算は、通学路などへの防犯カメラ設置促進費や高梁川流域7市3町の連携推進費などを盛り込んでいます。
子ども・子育て支援新制度の15年度スタートに向け、市立認定こども園の設置条例案も可決しました。

〔対象者〕 1歳以上3歳未満の幼児
(平成26年度は3歳以上5歳未満の幼児についても対象に含める)
〔自己負担額〕 無料

成人用肺炎球菌ワクチン接種事業
7533万円

平成26年10月から、予防接種を実施します。

〔対象者〕
①65、70、75、80、85、90、95、100歳の方
(平成31年度以降は65歳の方のみとなる予定)
②10歳以上の方(平成26年度のみ)
③接種日時点で、60歳以上65歳未満で一定の障がいがある方

〔自己負担額〕3000円(市民税課税世帯)
1500円(市民税非課税世帯)
無料(生活保護世帯)

家庭における幼児期の養育環境充実に対し総合的な支援を



子育て・保育

〔質問〕 不登校、校内暴力、学力低下などは教育委員会だけの問題ではなく、家庭における養育環境の充実が重要であり総合的な支援が必要ではないか

保険福祉局 幼児期の養育環境は重要である。倉敷市では子育て環境に合った情報をいち早く提供するための体制をつくらせている。

今後とも保護者が安心して子育てできるように、子どもの養育状況の変化に対応できる総合的な支援に取り組む。

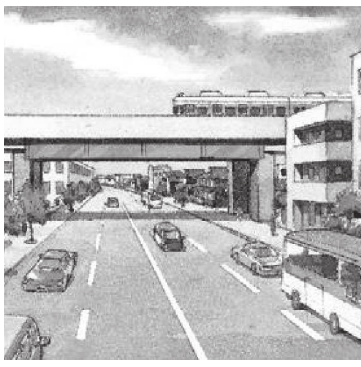
子育て・保育

〔質問〕 不登校、校内暴力、学力低下などは教育委員会だけの問題ではなく、家庭における養育環境の充実が重要であり総合的な支援が必要ではないか

保険福祉局 幼児期の養育環境は重要である。倉敷市では子育て環境に合った情報をいち早く提供するための体制をつくらせている。

今後とも保護者が安心して子育てできるように、子どもの養育状況の変化に対応できる総合的な支援に取り組む。

6月定例議会にて一般質問！ 高架の実現に向けて 鉄道高架化



高架の実現に向けて 鉄道高架化

倉敷市は、岡山県内において岡山市について2番目の人口を有する都市で、個人、法人、流通工業、観光など県へ対する税収面でも、かなり貢献をしているが、県の補助事業や負担金などが、他市に比べてかなり厳しい率を適用されている。たとえば医療費公費負担補助事業について、他市並みの補助率にした場合の差額累計についてお聞きを願いたい。

保険福祉局 県の医療費公費負担補助事業については、子ども医療費、ひとり親家庭等医療費、重度心身障がい者医療費、老人医療費の助成制度(平成23年9月終了)について、一定程度県が負担して福祉の向上を図るための制度だが、本市に対する補助率は、平成10年4月に従来の2分の1から6分の1に引き下げられている。一方、県内他市町村への現在の補助率は、政令市である岡山市を除き2分の1ということになっている。

平成10年度以降も他市並みの2分の1ということであった場合の補助額との差は、平成25年度までの累計で約69億円と見込んでいる。

要望 今回県から報告された鉄道高架化縮減計画の中で、山陽本線と伯備線を最長750メートル縮減しても61億円なので、県にはもう少し倉敷市に投資するようお願いしてもいいのではないかと、また建設局だけではなく、倉敷全体でいろいろな角度から高架の実現に向けて交渉に臨んでいただくことを要望する。

高梁川流域自治体連携推進事業

1569万円

地域の総合力をもって、人口減少・少子高齢化社会への対応を図るため、高梁川流域の特色を活かした圏域の魅力づくりを進めるとともに、まちづくりにかかる課題解決に共同で取り組み、圏域全体の発展を目指していくことを目的とします。

- 地域資源プロモーション事業 136万円
- 経済成長戦略セミナー開催事業 80万円
- 合同職員研修事業 55万円
- 公共施設マネジメント推進事業 36万円
- 女性リーダー研修事業 1134万円
- ソーシャルビジネス推進事業 20万円
- 中高年健康スポーツ教室実施事業 108万円
- 町家・古民家インベージョン事業 1600万円

古民家を活用した地域資源発信事業

産学金官連携により、キャンドル・古民家・地域食材を活かした食空間の演出や食の提供、また、キャンドルと地域の作家による作品を組み合わせた商品開発などにより産業の創出や観光資源化を図る民間事業を支援します。

観光客対策事業 346万円

行楽シーズンに美観地区周辺の渋滞対策として、シャトルバスを試験運行します。

『編集後記』
注文した「ど真ん中おかつち海の幸セット」(4301円)が届いた。わかめや味噌干しやイカの塩辛など7種類も入っている。うまくて酒が進む。さて、倉敷市は現在でも、もっとも必要とされている技術職員の派遣を行っている事を、ご存じだろうか。福島県庁、南相馬市、塩竈市、大槌町である。単身赴任である。気苦労も多いはずだ。この場を借りて心からの感謝とエールを送りたい。今年の夏は辛いことが重なった。女子児童連れ去り事件は今だ記憶に新しい。普段からの見守りや不審者情報の提供など、まさに地域の力が事件解決に導いたのだ。あれから住民主体でパトロールなど活発に行って下さっていると聞く。有難い。市も防犯カメラの設置を急ぐ。「子供を一人にしない事」そのことがこんな事件が起らないことにつながるのだ。広島市の土砂災害もあった。市はすぐに緊急消防援助隊員や職員を派遣、支援物資や義援金200万円を届けた。隣県である。他人事ではない。隣近所の声がかけて助かった事例が多いという。まさに「地域の力」その力をもっと広げたい。それが私達の身を守ることにつながるのだ。

ほろ場整備事業 162万円

玉島陶中地区において、ほろ場整備事業を実施するための計画を策定します。

〔事業期間〕
平成27年度〜平成31年度

〔受益面積〕 9 ha

母子寡婦福祉資金貸付事業 198万円

母子及び寡婦福祉法の改正に伴い、平成26年10月から新たに父子福祉資金貸付を実施します。

※平成26年10月から母子父子寡婦福祉資金貸付金制度に名称変更となります。

スポーツ振興基金事業 270万円

選手強化や競技力の維持向上のための指導者養成を目的に、研修会への派遣や講習会の開催などに対する助成を行います。

「再び東北の地へ」

2011.3月11日を忘れない

夏のこの時期、お盆休みを利用して東北へ行くようになって4回目を数える。この章の子を読んで被災地を身近に感じていると言っていたこともある。正直嬉しい。だが、私はちゃんと被災地の思いと現実を伝えられているだろうか。一向に進まぬ復興事業に業を煮やして、自力で企業を立ち上げた方々が大勢いらっしやる。その製品を買うことも地元経済の復活の一助になるといふ。被災地の逸品である。今年はそのどれも皆様に紹介したい。いつものメンバーと出発。

陸前高田市

震災後のガレキを拾うボランティアで行った市である。あの日、大津波によって市役所や駅など市のおよそ7割以上が被害を受けたのだ。名所で名高かった高田松原松の最後の一本が「奇跡の一本松」として復興のシンボルとなっている。



「陸前高田未来商店街」に向かう。歩いて10分ほどか。見かけは手作り感満載の可愛い商店街だが、多目的ホールなどもあり文化の発信地になっているという。「ラフ」という店の葡萄の果皮の部分を使



ったオリジナル石鹸「ラフぷるるん」(1296円)を購入。マスコミに何度か取り上げられている話題の石鹸だ。帰宅後使用。正直、洗顔後のしっとり感はなじめなかつたが妻は大喜びだった。肌がしっとりするという。

「味と人情の鶴亀鮎」息子さんと鮎を握り、また震災の語り部としても活動している大将がいらつしやる店だ。震災の話を伺う。辛い話だが大将の暖かい人柄にふれて自然に涙が出そうになる。心にしみる。大将の言葉「頑張ってるねー」は時にきつい。「頑張ってるねー！」って言われると癒される気がする。



「奇跡の一本松」を見に行く。車で20分位。ポツンと立つその姿に息をのむ。儚げで今にもボキリと折れそうなのその姿にそっと手を合わせる。



必要なのは諦めずに続ける事なのか。固く握手してエールを送る。遅めの昼食。夕方まで大槌町を巡る。

まずは「きらりベース」として無料宿泊所としても活用された「大槌北小学校」に行く。すでに解体され更地になっていた。2年前、若者たちと力を合わせて作った精霊流しのための道も何も残っていない。正直、寂しい。「またね」「ありがと」「町の人たちが声をかけてくれた。しよぼくれた心に元気をくれる。実は大槌町は観光地だ。「ひよっこりひよったん島」のモデルになった蓬莱島。井上ひさし著「吉里吉里人」のモデル吉里吉里海岸。大神楽や虎舞などの伝統芸能も盛んなのだ。ここには東北の根性とねばりと優しさがある。



「キャピタルホテル1000」に宿泊。このホテルは「誓いのホテル」「復興ホテル」とも呼ばれているそうだ。被災後、町を一望する高台に移転。2013年11月再オープンを果たす。多くの若者達が地元で結婚式を挙げたいと、再オープンを待たそうだった。かさ上げなど多くの難関があったと聞くが、官民一丸となって乗り切ったという。従業員の笑顔が失っても、また一から始めれば良いと教えてくれるようだ。これが復興。

まずは釜石へ向かう。われらはレンタカー移動だが観光

には三陸鉄道の乗車をお勧めしたい。

三陸鉄道には南リアス線と北リアス線がある。北リアス線には「あまちゃん」で有名な久慈駅があり「お座敷列車」が往復している。南リアスが全線復旧したのは今年の4月と遅かった。大津波によって大被害を受けたのだ。だが、トンネル内に急停車して助かった一両の車両があった。「あまちゃん」にも使われたE130「ソード」奇跡の車両36215号」である。復興を願う世界中の熱い思いが、不可能と言われた全線復旧を早めたと聞く。特にクエートからの援助で全車両を揃えられたのだ。みんなの願いが集まった駅と車両が見たかった。南リアス線「盛駅」入場券購入。2両編成で白地に赤と青色でイラストされた列車が停車している。可愛い。その出発をまって列車と少しだけ並んで走行した。まるで夢のように美しい景色だ。途中の駅「恋し浜駅」ホタテが名産。ホタテの貝を使った絵馬やホタテパーガーが有名。

大槌町

いよいよ大槌町に入る。途端、景色が一変する。確かにもうガレキはない。だが、更地のままの所が殆どで、そこに雑草がはびこっている。碓川豊町長に面会。かなり瘦せられていて驚く。激務なのだろう。訥々(とつとつ)とした話し方だけは変わらない。思い切って復興が遅れている理由を聞く。苦笑いから。「計画立案に時間がかかってしまい、資材や人手を大型復興工事に取られてしまった事に尽きます」工事入札も辞退や不調が多いという。大槌町には今だ、病院も消防署も学校もたっていないのだ。「でも私達は諦めませんよ。必ず復興します」

さあ 倉敷に帰ろう・・・